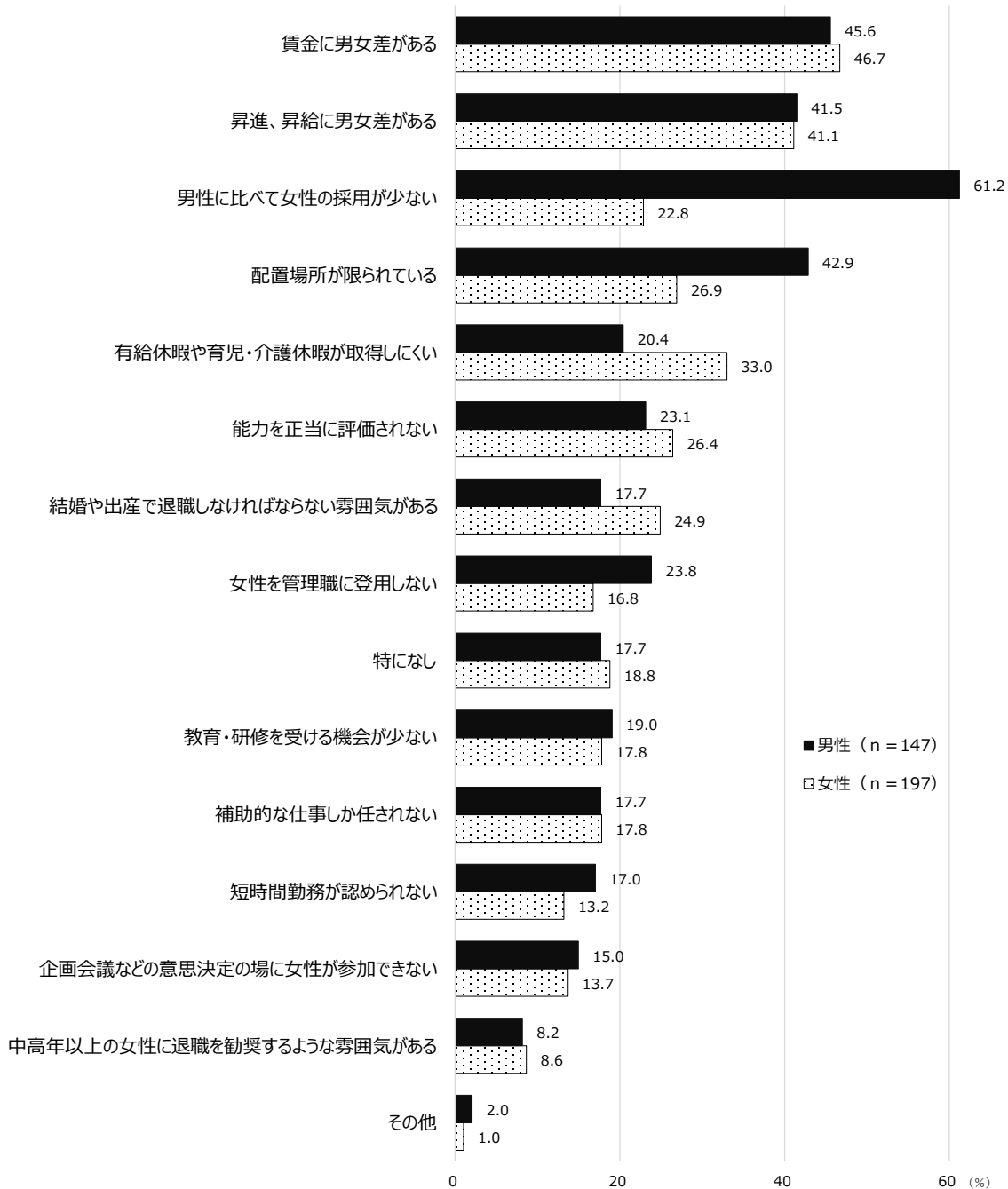


5 仕事について

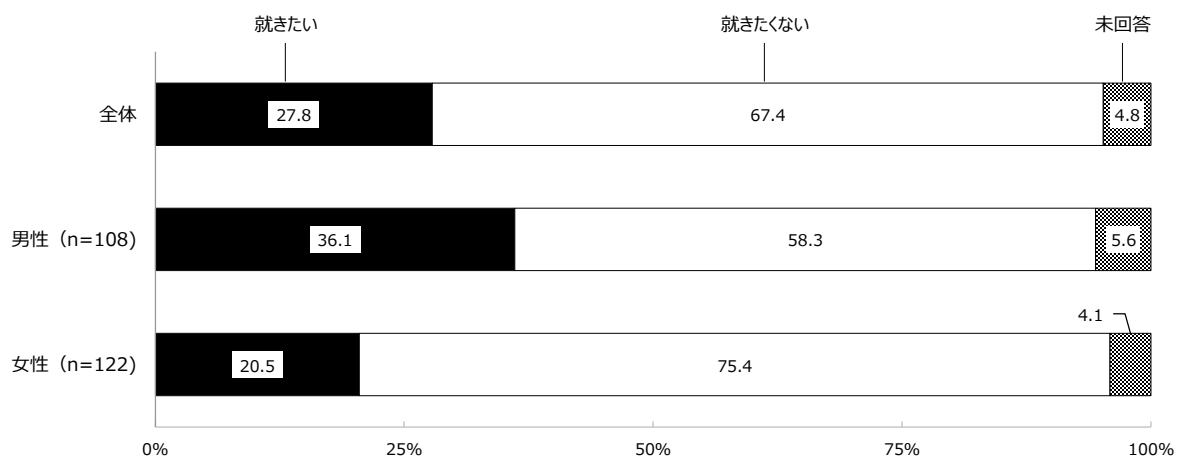
問15 職業に就いている方、また過去に就いていた方にお聞きします。あなたの職場では仕事の内容や待遇面で、女性に対して、次のようなことがありますか（ありましたか）。当てはまる番号をいくつでも枠の中で記入してください。



職場の業務内容・待遇面等で、女性に対してあること又はあったことを聞いたところ、「賃金に男女差がある」「昇進、昇給に男女差がある」「男性に比べて女性の採用が少ない」が上位を占めた。

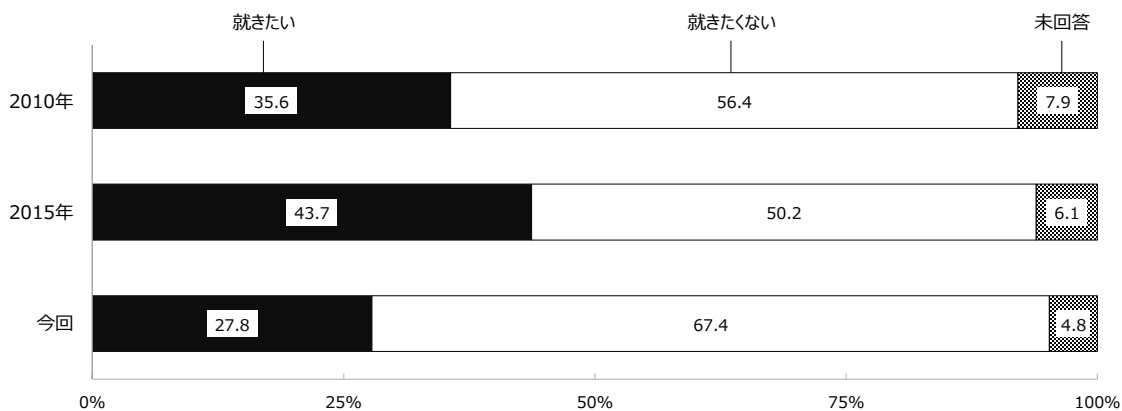
性別で見ると、男性は「男性に比べて女性の採用が少ない」「賃金に男女差がある」「配置場所が限られている」が上位を占めており、女性は「賃金に男女差がある」「昇進、昇給に男女差がある」「有給休暇や育児・介護休暇が取得しにくい」が上位を占めている。

問16 職業に就いている方にお聞きします。あなたは責任ある役職に就きたいですか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。



責任のある役職に就きたいか聞いたところ、男性の36.1%は「就きたい」と回答したが、女性は20.5%に留まっており、男性と比べ15.6ポイント低くなっている。

▶過去の調査との比較



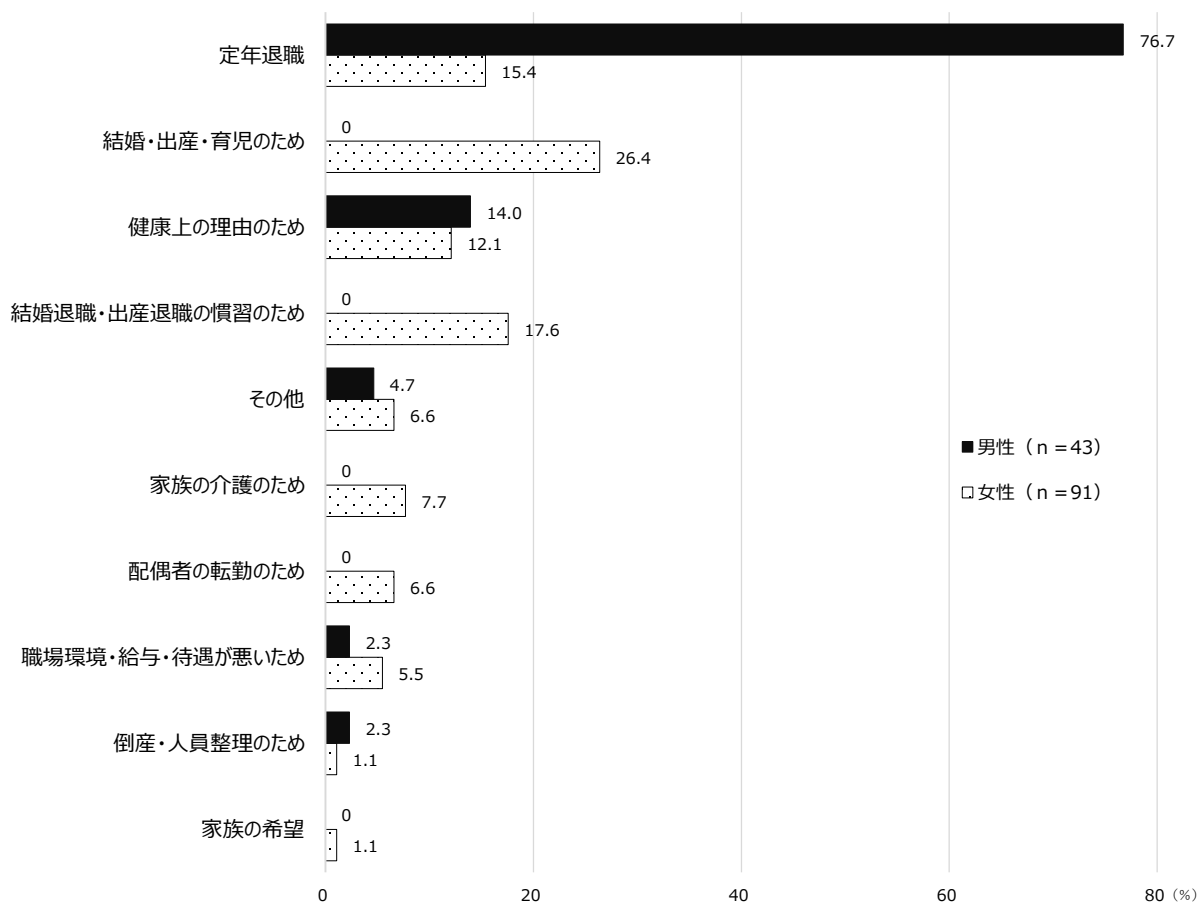
過去の調査と比較したところ、「就きたい」と回答した割合は15.9ポイント減少し、27.8%となっている。

問17 【問3】で「4.専業主婦・専業主夫」、「6.無職」とお答えされた方にお聞きします。以前、仕事をしていたことがありますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

	ある	ない
女性	93.9%	6.1%
男性	100.0%	0.0%
全体	95.7%	4.3%

【問3】で「専業主婦・専業主夫」、「無職」と回答したうち、女性の93.9%が過去に就業経験があり、男性では回答者全員が過去に就業経験があった。

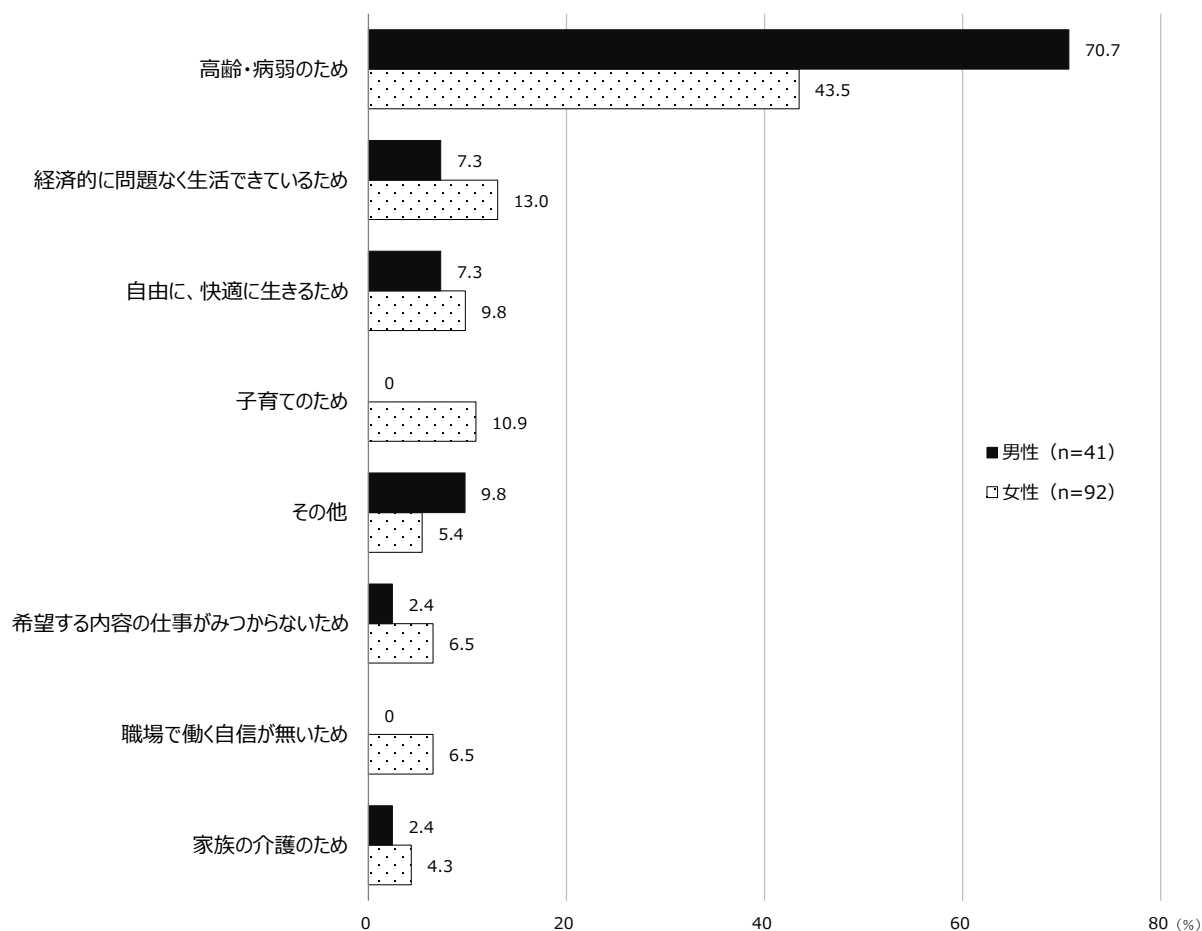
問18 【問17】で「1.ある」とお答えした方にお聞きします。仕事をやめた理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。



仕事を辞めた理由について聞いたところ、男性で最も多いものは「定年退職」（76.7%）、女性は「結婚・出産・育児のため」（26.4%）となっている。

そのほか、女性は「結婚退職・出産退職の慣習のため」（17.6%）、「定年退職」（15.4%）、「健康上の理由のため」（12.1%）が多くなっている。

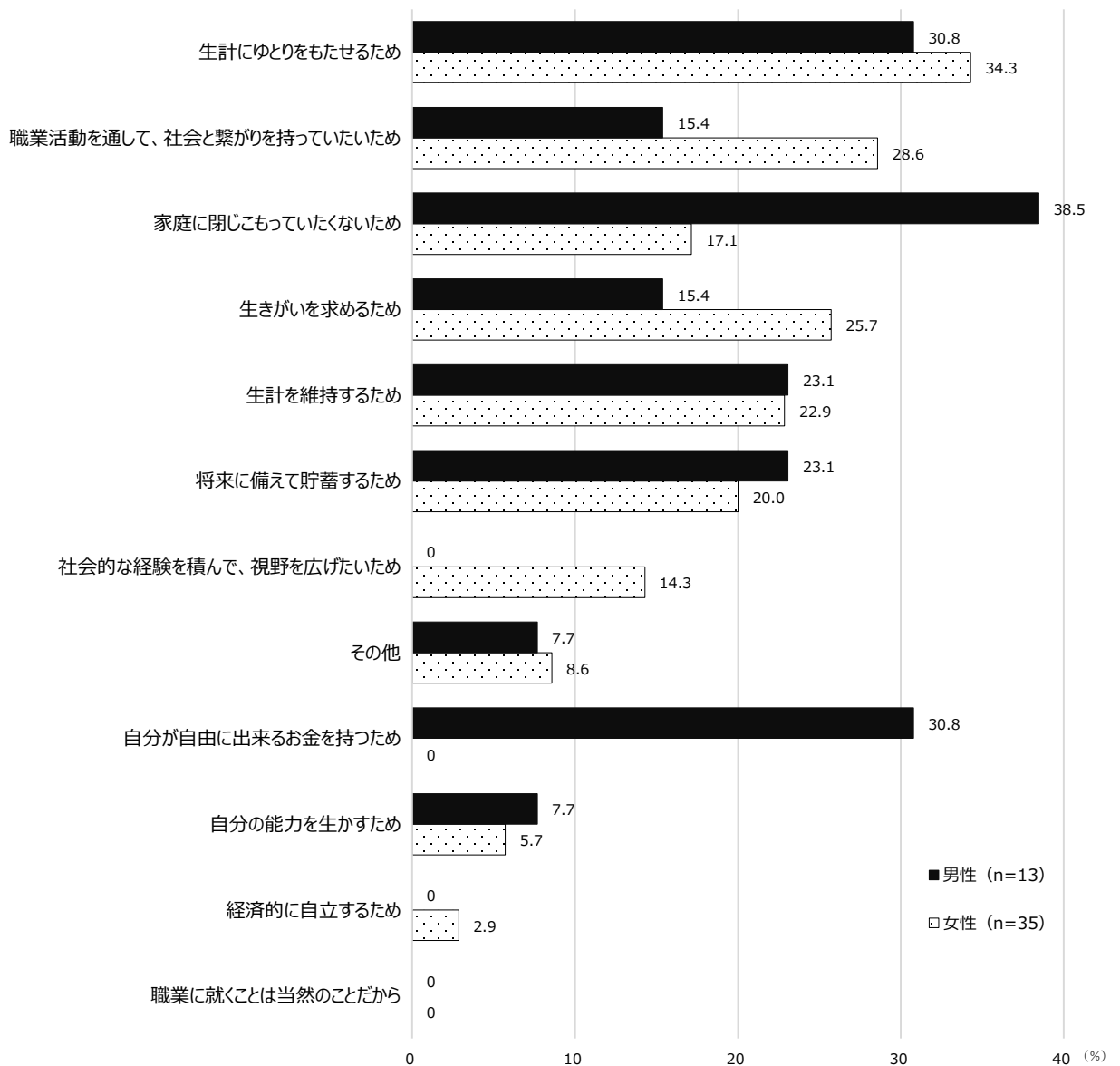
問19 【問3】で「4.専業主婦・専業主夫」、「6.無職」とお答えされた方にお聞きします。今、仕事をしていない理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。



今、仕事をしていない理由を聞いたところ、男女ともに「高齢・病弱のため」が男性70.7%、女性43.5%と最も高かった。

次いで、男性は「経済的に問題なく生活できているため」「自由に、快適に生きるため」がそれぞれ7.3%となっていた。女性は「経済的に問題なく生活できているため」が13.0%、「子育てのため」が10.9%となっている。

問20 【問3】で、「4.専業主婦・専業主夫」、「6.無職」とお答えされた方で、今後就職を希望している方にお聞きします。就職を希望する理由は何ですか。次の中から、近い番号を2つまで枠の中に記入してください。

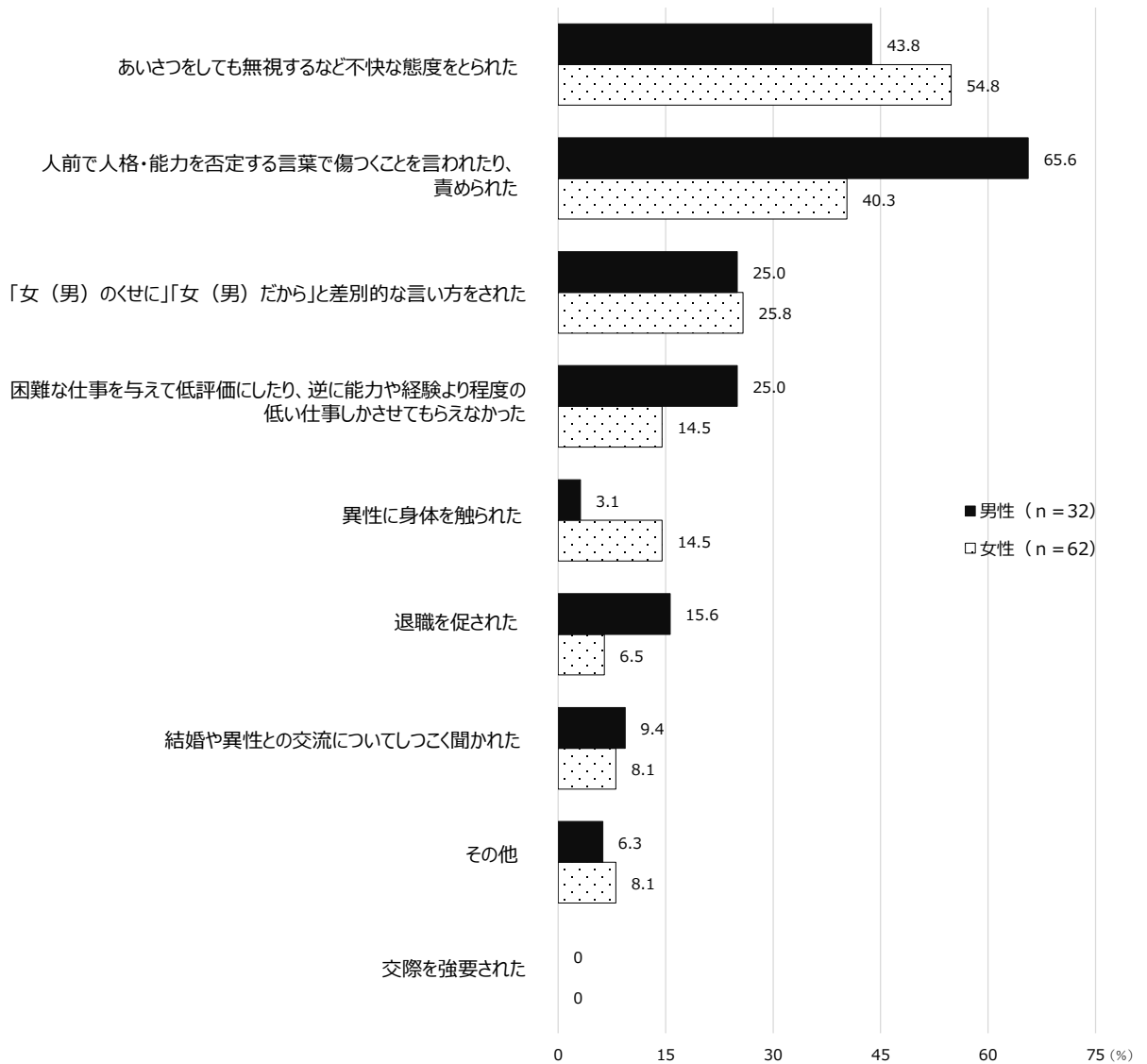


今後就職を希望する理由を聞いたところ、全体では「生計にゆとりをもたせるため」「職業活動を通して、社会とのつながりを持っていたため」「家庭に閉じこもってたくないため」が上位となった。

男性は「家庭に閉じこもってたくないため」が38.5%と最も高く、次いで「生計にゆとりをもたせるため」「自分が自由に出来るお金を持つため」が30.8%となっている。

女性は「生計にゆとりをもたせるため」が34.3%と最も高く、次いで「職業活動を通して、社会との繋がりを持っていたため」が28.6%、「生きがいを求めるため」が25.7%となっている。

問21 ここ5年間に職場や日常生活において、不愉快な経験（ハラスメント）がありましたか。当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。



職場や日常生活における不愉快な経験（ハラスメント）について聞いたところ、男性の78.9%、女性の72.3%が「特になし」「未回答」と回答した。

全体で見ると、「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」「人前で的人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」が上位となっている。

男性は「人前で人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」が65.6%で最も高く、次いで「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」（43.8%）であった。

女性は「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」が54.8%で最も高く、次いで「人前で人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」が40.3%であった。

▶職場や日常生活におけるハラスメントを受けたことのある人数について前回の調査との比較



前回と比べ、ハラスメントを受けたことがあると回答した割合は、男性は3.2ポイント増加しているが、女性は1.9ポイント減少している。

ハラスメント

ハラスメント/Harassmentは、他者に対する発言や行動など本人の意図と関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与えることを指します。

- ・ パワハラ（パワーハラスメント）・・・職場などにおいて自身の優位的・優越的立場から、業務の範囲を超えて、相手に精神的・身体的苦痛を与えたり、職場環境を悪化させたりすること。
- ・ セクハラ（セクシャルハラスメント）・・・職場などにおいて、性的な発言や行為によって相手が不快感を抱いたり、不利益を受けたりするなど就業環境が害されること。
- ・ モラハラ（モラルハラスメント）・・・言葉や態度・身振りなどによって、相手の人格や尊厳を傷つけたり、肉体的・精神的に苦痛を与えること。
- ・ マタハラ（マタニティハラスメント）・・・妊娠・出産・育児休業等を理由として嫌がらせを行ったり、また不利益となる発言を行うなど、就業環境を悪化させること。